

立石科学技術振興財団

〔特別招聘〕

招 聘 者	京都大学 大学院 情報学研究科 教授 石田 亨	2013101
研究集会名	第2回 文化とコンピューティング国際会議	
出張期間	平成23年10月18日～平成23年10月23日	
開催場所	京都市	
被 招 聘 者	Sarah Kenderdine, City University of Hong Kong（香港城市大学）・客員准教授	

概 要：

情報学と文化との関わりには様々なものが考えられる。情報学の研究成果を用いて歴史的文化を保存する方向、人文科学の研究を進める方向、文化的活動を促進する方向、多文化共生に寄与する方向などである。国際社会は、今後、人口、エネルギー、環境、食糧などの多くの問題に直面することが考えられる。こうした課題を克服するために、地球規模の合意形成が必要となることが求められ、他国の文化を理解し、対話を通じてその違いを越えてゆくために情報学の寄与が考えられる。そこで、本会議は文化とコンピューティングに関わる問題意識や研究成果を共有することを目的とし、開催する。

そのため、情報工学系の研究者に加え、人文科学、メディア芸術など幅広い分野からの参加があり、分野を超えた新たな連携がうまれそうである。

Sarah Kenderdine 教授は、博物館や美術館における対話的な没入体験の研究の前線で活躍しており、幅広い展示作品を通じて、歴史的文化財と近代的メディアアートを融合させてきた。当会議で Kenderdine 教授が行ったインタラクティブ性の高い没入型文化遺産展示システムでは、香港城市大学に新設された Applied Laboratory for Interactive Visualization Embodiment (ALiVE) にて研究開発された様々な事例を紹介するとともに、システムのデータ取得技術や、アーカイブ素材の再利用、巨大3次元ディスプレイ装置についての課題や今後について講演がなされた。

Kenderdine 教授を当会議に招聘することにより、教授の独創的な視点や最先端の技術を用いた新しい展示環境について学ぶということだけでなく、多分野の参加者からの広い観点からの討論がされるなど、会議開催者が期待した以上の成果を得ることができた。